

アメリカ建国 250 周年を記念した限定モデル APRILIA RACING が「aprilia X 250TH」を発表



オースティン、2026 年 3 月 27 日 - Aprilia racing は、アメリカ GP 開催中のサーキット・オブ・ジ・アメリカにおいて、MotoGP で培われた最先端テクノロジーを結集した特別仕様車「Aprilia X 250TH」を発表しました。この新型 Aprilia X 250TH は、1776 年 7 月 4 日に署名されたアメリカ合衆国独立宣言 250 周年を記念して企画されたもので、生産台数 30 台のうち 25 台を米国市場向けに割り当て、残りの 5 台を世界各国向けに販売すること、そしてアメリカ国旗の色にインスパイアされた壮大な「星条旗」カラーリングを施すことが決定されました。

MotoGP 専用装備であるカーボンブレーキを搭載した世界初にして唯一の市販バイクであり、X 250TH はマルコ・ベッツェッキとホルヘ・マルティンが駆る Aprilia RS-GP と同等の制動力を発揮するなど、最高峰のモーターサイクルレース選手権との直接的な繋がりを象徴しています。

アメリカ国旗をモチーフにした壮大な「星条旗」カラーリングをまとった Aprilia X 250TH は、240 馬力を誇る、これまで製造された RSV4 の中で最もパワフルなモデルです。165kg の軽量ボディが、かつてないライディング体験を実現するパワーウェイトレシオを実現。X ブランドの第 6 世代となる新型 Aprilia X 250TH は、MotoGP 世界選手権に参戦する RS-GP プロトタイプにのみ採用されている最新世代のシートウイングを備え、卓越したエアロダイナミクスを誇ります。

aprilia RACING

2019 年に RSV4 X でスタートし、2020 年に Tuono X、2022 年に RSV4 X Trenta、2024 年に RSV4 X ex3ma、そして 2025 年に RSV4 X-GP と続いた、世界でも類を見ないプロジェクトの第 6 世代にあたります。「X」の称号を持つこれらの特別なモデルは、一般向けに販売されるバイクにおいて最高の卓越性を表します。



ブレーキシステム

Aprilia X 250TH の際立った特徴の一つは、ファクトリーバイクとしては他に類を見ない Brembo 製カーボンブレーキシステムです。このシステムは、MotoGP でも使用されている直径 340mm のカーボンブレーキディスクを、カーボンパッドと冷却フィン付きのビレットアルミニウム製キャリパーと組み合わせ採用しています。リアブレーキディスクはニッケルメッキのキャリパーを採用しています。カーボンディスクの採用により、従来のスチール製ディスクの半分の重量となり、ハンドリング性能の向上に貢献し、カーボンパッドはシンタードパッドに比べて約 3 分の 1 の軽量化を実現すると同時に、過酷な使用条件下でも安定した性能を発揮し、MotoGP プロトタイプマシンに近いライディング体験と制動力を提供します。

エアロダイナミクス

空力性能も Aprilia X 250TH の際立った特徴の一つであり、この分野において Aprilia racing は MotoGP におけるパイオニアとしての地位を確固たるものにしています。実際、新型 X のボディラインは RS-GP からインスピレーションを得ており、特にリアのデザインは空気の流れを忠実に再現しています。空力パッケージには、MotoGP 由来の先進的なソリューションが採用されており、Aprilia racing 独自の技術であるシートウイングや、RS-GP25 で初めて採用されたテールウイングなどが含まれます。シートウイングとテールウイングの組み合わせは、コーナでのブレーキング時に空力的荷重を増加させるだけでなく、リアウイング、アンダーウイングも同様の効果をもたらします。

もう一つの特徴的な要素は、PAN Compositi 社製の「サンドイッチ構造」を施したカーボン製サドルサポートです。これは、剛性を維持しながら極めて軽量化を実現するために、カーボンファイバーを特殊な方法で加工したものです。

これらの要素すべてが、車体後部のダイナミクスをレーシングプロトタイプのものにさらに近づけ、グリップ力を向上させ、リアタイヤのパフォーマンスとライダーの感覚との直接的なつながりをより確保します。そして特別感をより演出しているのは、パフォーマンスを最大限に引き出し、レーシングサウンドを実現する SC Project 製のチタン MotoGP レプリカダブルエキゾーストです。

Aprilia X250TH には、Aprilia racing が開発し特許を取得した先進的なグラウンドエフェクト空力システムも搭載されています。このサイドフェアリングのデザインにより、バイクをバンクさせた際にダウンフォースが発生し、コーナリング時のグリップと安定性が向上します。

すべてのフェアリングは、PAN Compositi 社によるカーボン製で、MotoGP バイクと同じ製法で作られています。直線走行時の垂直荷重は Aprilia RSV4 の 5 倍で、安定性が向上してウィリーが軽減される一方、コーナリング時の荷重は 3 倍となり、グリップ力が向上します。このフェアリングはアメリカ国旗の色をあしらった「星条旗」カラーが施され、この特別なバイクの個性を際立たせています。

aprilia RACING

エンジン

Aprilia X 250TH は、レーシング部門が SBK レース仕様として開発した 1099cc 65° V4 エンジンを搭載しています。最高出力は 13,750rpm で 240HP(最大回転数は 14,100rpm)、最大トルクは 11,750rpm で 131Nm です。

この性能は、圧縮比を上げ、**Sprint Filter** 製の高透過性レーシングエアフィルターとレーシングスベックのエアボックス吸気トランペット、SC Project 製のチタン製デュアルパイプエキゾースト、そして STM 製乾式クラッチなど、V4 エンジンのパフォーマンス向上をねらった進化によって実現されています。

エレクトロニクス

電子制御は Aprilia racing APX コントロールユニットによって行われ、これはマックス・ビアッジが RSV4 でチャンピオンを獲得した WSBK 選手権で使用されたシステムを直接進化させたもので、ライディングスタイルや路面状況に合わせてパラメータを完全に調整できるユニットです。APX システムは、フロントリフト抑制機能、各ギアの出力、トラクションコントロール、エンジンブレーキのコントロールを可能にし、統合型 GPS システムによって補完されます。

シャシー

Aprilia X 250TH は、アルミニウム製のダブルトレリスフレームと、専用セッティングの Öhlins 製メカニカル式サスペンションで構成されています。ホイールは **Marchesini** 製の鍛造マグネシウムで、スーパーバイク世界選手権で使用されている **Pirelli** 製スリックタイヤを装着しています。

その仕上げのレベルは、Aprilia racing のアプローチを反映しており、アジャスタブルフットペグやシリアルナンバーが刻印されたステアリングプレートなど、その多くはカーボンまたはビレットアルミニウムで作られています。それらの装備には、WSBK テクノロジーを採用した大型のラジエーター、軽量化された PBR 製の前後チタンスプロケットを備えたファイナルドライブ、そして 520 **Regina** 製チェーンも含まれています。



30 台限定生産

Aprilia X 250TH は 30 台が生産され、25 台は米国市場向け(希望小売価格は 15 万米ドル)、残りの 5 台はヨーロッパを含むその他の市場向けで、価格は 11 万 5000 ユーロ(税別)です。専用サイト FACTORYWORKS.APRILIA.COM にてすぐにオンライン予約の受付が開始されます。(日本からは購入できません)

シリアルナンバー入りの限定生産に加え、購入者には ECU パラメーターと電子制御を管理するためのソフトウェアを搭載した Yashi 製ノートパソコン、マット、専用バイクカバー、RCB 製チタンフロントスタンドとリアスタンド、そして IRC 製タイヤカバーも付属します。

Aprilia X 250TH は、Aprilia racing が立ち上げたファクトリーワークスプログラムの一環で、ノアールに拠点を置くレーシング部門が構想・実現し、レースで開発されたテクノロジーを、このファクトリー

aprilia RACING

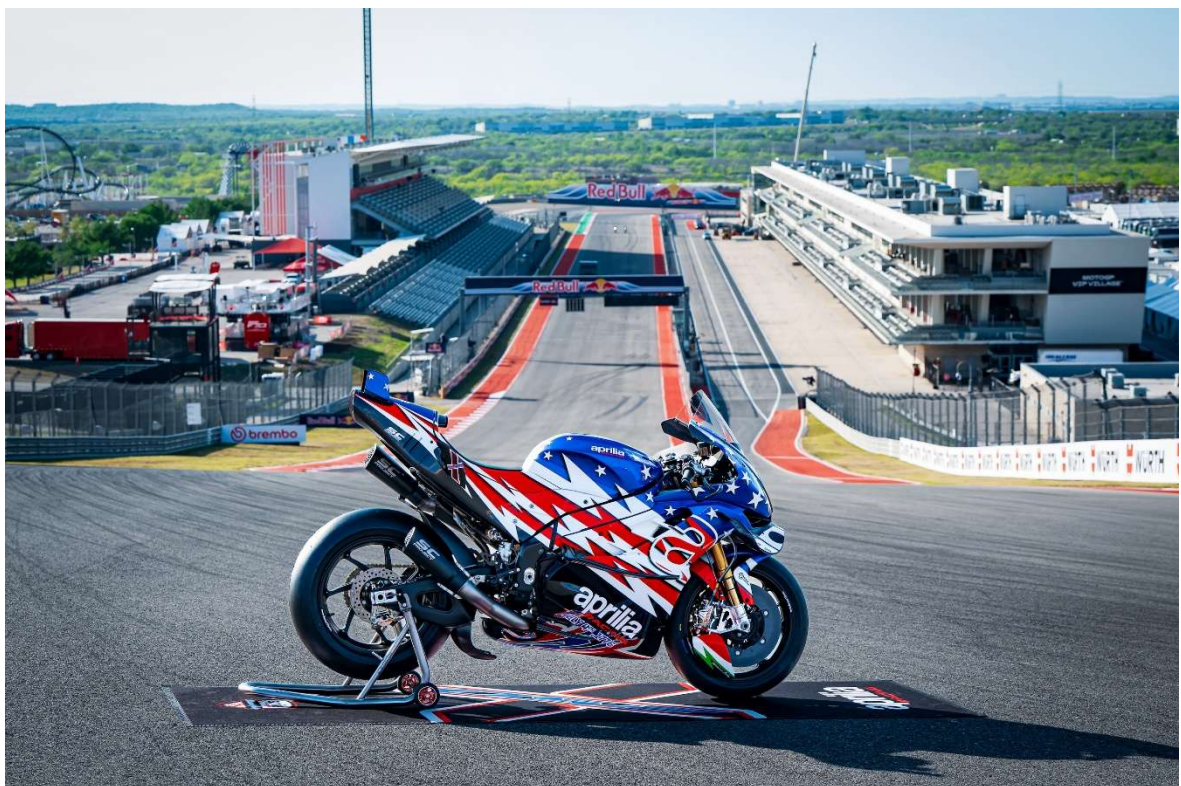
派生シリーズでトップレベルを目指す人、あるいは最高レベルのパフォーマンスを備えた RSV4 や Tuono V4 を所有したい人に向けて提供することを目的としています。

マッシモ・リボラ (Aprilia racing CEO)

『Aprilia racing は、さらに MotoGP マシンに近い特別な製品を再び発表しました。Aprilia X 250TH は、真の愛好家のための、他に類を見ない逸品です。X シリーズのバイクは、長年にわたりコレクターはもちろんのこと、MotoGP ライダーが感じるスリルに限りなく近い体験を求める人々からも高い人気を誇ってきました。』

ファビアーノ・ステラッキーニ (aprilia racing テクニカルディレクター)

『Aprilia X 250TH は、Aprilia racing が生み出したもう一つの素晴らしい作品です。これまでのモデルと同様に、MotoGP バイクのコンセプトを彷彿とさせる高度に洗練された空力性能から始まり、数々のエンジンアップグレード、そして従来モデルと比較してパワーアップに至るまで、他とは一線を画す要素に細心の注意を払って開発されました。しかし、このプロジェクトの真に特筆すべき点は、最先端のブレーキシステムです。カーボンディスクを採用することで、ブレーキシステムに過度な負荷をかけることなく、極めて高い制動力を発揮します。これは MotoGP 由来の技術であり、F1 でも採用されています。一般向けに販売されるバイクとしては、これまでにないブレーキ性能を実現する、全く新しい機能と言えるでしょう。』





APRILIA X 250TH TECH SHEET

RSV4 1100 Factory 2026 を Aprilia Racing がサーキット専用モデルとして以下のようにモディファイしています

Engine	V4 65°, 1099 cc with SBK racing specifications
Exhaust System	SC-Project Titanium Full-System Exhaust MotoGP Replica 4x2 with balance pipe between cylinder banks
Airbox	MY25 throttle body and dedicated intake trumpets
Air Filter	High permeability racing - MotoGP technology - Sprint Filter
Electronic	APX Aprilia Racing with specific settings and GPS system
Radiators	Oversized Racing - SBK technology
Transmission	Titanium rear sprocket and lighter front sprocket by PBR (designed by Aprilia Racing)
Chain	Regina Chain 520
Max. Power	240 HP/ 13750 rpm @ crankshaft
Max. Torque	131 Nm / 11750 rpm @ crankshaft
Max. Engine Rpm	14.100 rpm
Rims	Marchesini in forged Mg M7R GENESI (front 17"x3.5" – rear 17"x6")
Braking System	Brembo Carbon-Carbon, with carbon discs – 340 mmdiameter high mass - MotoGP configuration, carbon brake pads - MotoGP configuration and billet aluminium calliper with cooling fins
Rear Brake Calliper	Nikel-plated
Front Forks	Öhlins FKR pressurized cartridge with mechanical control. Adjustable in spring preload, hydraulic (with dedicated setup) compression and rebound damping. Fork bottoms designed by Aprilia Racing, fully CNC- machined, for MotoGP-derived brake callipers with 108 mm spacing.
Rear Shock Absorber	Öhlins TTX mechanically managed piggyback derived from MotoGP, fully adjustable in: spring pre-load, wheelbase and hydraulic compression (with dedicated setup) and rebound damping.
Steering Damper	Öhlins, adjustable
Clutch	Dry clutch by STM
Upper Triple Clamper	Racing, lighter, CNC machined, with limited edition number
Handlebar switches	Racing by Jetprime
Clutch Lever	Racing by Domino
Footrests Kit	Racing, adjustable, by Spider
Fairing	MotoGP specifications, full carbon by PAN Compositi
Aero package	Carbon front and under wing, cornering wings, tail wings, seat wings as from MotoGP, by PAN Compositi
Seat Support	Structural carbon seat support, by PAN Compositi
Mudguard	Full carbon
Livery	"Stars and Stripes"
CNC parts	Fuel tank cap, engine crankcase and brake lever protections, by Spider
Tires	Pirelli Slick Diablo SBK ant. SC-1 125/70 post. SC-X 200/65
Dry Weight	165 kg
As a complement	Yashi laptop, personalized mat and bike cover, titanium rear and front stands by RCB, tire warmers by IRC